



開校35周年

三小だより

令和6年9月2日 発行

<9月号>

江戸川区立南葛西第三小学校

校長 佐久間 貴広

「おもいやり算」で学びを深める

今日、2学期の始業式では、学校生活が再び始まるため、3つの教育目標の一つである「豊かな心」があふれる三小にますますなるよう、「思いやり算」を紹介しました。

「+」 たすけあう

「-」 ひきうける

「×」 声をかける

「÷」 わけあう

それは 人を笑顔にする算数 おもいやり算

ほら やさしいでしょ

【公益社団法人 ACジャパン より】

「思いやり算」とは、「たす (+) けあう」「ひき (-) うける」「こえをかける (×)」「わけ (÷) あう」のように、四則計算を語呂合わせにした思いやりのある行動を示したものです。以前、ACジャパンのCMで流れていたのも、覚えている方もいるかもしれません。

子供たちには、思いやりの気持ちを態度に表すことの大切さを話しました。CMにある場面を示しながら、助けが必要な人に出会ったら手を差し伸べること、一人で重い荷物を持っていたら「手伝います」と引き受けること、困っている人を見かけたら「どうしたの、大丈夫。」「何かできることはありますか。」と声を掛けること、そして、自分のものを分け合うことなど、人を思いやる行動を具体的に伝えました。

「友達から人間の勉強させてもらうのだ」

天才バカボンなどの有名な漫画を生み出した赤塚不二夫さんの言葉です。なんとも素朴で、学びや社会で生きるということの本質をつくすてきな言葉だと思います。学校では、友達との話合いやグループ学習で考えを深め合うといった学習活動だけでなく、係活動、委員会活動、たてわり班活動などの異学年交流など、人と関わり合う場面がたくさんあり、こうした活動を通して、たくさんを知り、気づき、感じ、考えるということを日々経験しています。様々な人と関わりあうことができる学校だからこそできる学びが数多くあり、それはまさに、友達から人間の勉強をさせてもらい、自分という宝を磨く作業を積み重ねているということなのだと思います。そして、その工程に、思いやりというエッセンスが加わることで、きっとその人間の勉強はさらに深まり、意味あるものになるのだと思います。

開校 35 周年を祝って

本校は、平成元年に開校し、今年度 35 周年を迎えました。30 周年のような「10」の節目の年ではないため記念式典などの記念行事は行いませんが、区切りのよい年を祝って航空写真撮影を行います。

7 月には代表委員会が中心となって、各クラスから航空写真を撮影する際のデザインに使いたいイメージを募集しました。それを基に 9 月に代表委員会を中心にデザインを作成し、10 月 3 日の開校記念集会以て発表します。実際の撮影は、10 月下旬を予定しています。

～研究推進委員会から～

研究推進委員会 小島 良貴

今年度は学級活動、特に学級会を中心に研究を進めています。学級会では、子供たちが自ら学級や学校における生活上の課題に気付き、解決するために話し合い、合意形成し、協力して実践することを通して、自治的能力を育てていきます。

学級会を「もっともっとよいクラスになるために、「みんな」でやりたいことを「みんな」で話し合って、「みんな」で決めて、「みんな」で一緒にやる時間」とし、自発的に意見を出し合ったり、折り合いを付けて意見を合体させたり、新たな意見を生み出したりと、活発的に取り組む様子が見られるようになってきました。子供たちの中からも「早く次の学級会がしたい。」「意見をもっと発表したい。」など、前向きな声が聞かれます。

学級会を通して、よりよい学級、よりよい学校を子供たち自らが意識し、作り上げ、誰もが居心地のよい南葛西第三小学校を目指していきたいと思えます。



<6年生の様子>

～特別支援教室紹介～

特別支援教室主任 中島 麻衣

◇特別支援教室は、学校生活が充実し、社会生活が円滑に行えるように、一人一人のめあてに応じて指導・支援をする教室です。人と円滑な関係を築いていくためのソーシャルスキルや、個々に合った学習の仕方などを、1対1の個別指導や小集団指導で学習しています。

◇特別支援教室での一人一人に合った様々な学習を通して、得意なことを増やしていくことで、児童が自分の良さを再発見し、心地良く日々の生活を送っていくことができるようになることを目指しています。

◇詳細は、ホームページ内の「特別支援教室ゆりのき」を御覧ください。



《このような心配があれば御相談ください》

◎集団生活や友達との関わりに苦手意識をもっている

◎自分の思いを伝えることや気持ちの切り替えが難しい

◎前向きに学習に取り組むことができない、授業に集中できない など

<特別支援教室 直通：03-3878-2671>

～ことばの教室（通級指導教室）紹介～

ことばの教室 田川 恵子

◇ことばの教室（通級指導教室）は、

①構音障害【さかな→しゃかな、からす→たらす等の発音の誤りがある】

②吃音【おおはよう、おーはよう・っおはよう、等言葉がなめらかに出ない】

③言語発達面【平仮名が覚えられない、語彙が少ない等】

以上の3つの主訴に応じて、一対一の個別指導で学習しています。

◇児童の特性や学び方を、様々な検査や行動観察から見立て、個に応じた指導をしています。



《このような心配があれば御相談ください》

◎発音が正しくできない、何を言っているか聞き取りにくい。

◎話し始めを繰り返したり、引き伸ばしたり、言葉が出にくかったりする。

◎語彙が少ない、片仮名や漢字、拗音（ゃゅょ）や促音（っ）の読み書きができない。

<ことばの教室 直通：03-3689-4121>